

迫り来る東海・東南海・南海の巨大地震

◆不安を解消する災害時のEV Q&A

前回よりの続き・・・

想定日時 2012年12月13日(木) 13時
M9の巨大地震が発生

「加古川では震度5強～6弱程度の揺れを感じた」

シリーズ 「災害への想定」 Story7

前回の続きで、居室内の閉じ込め救助中に「エレベーターで誰かが閉じ込められているらしい」と聞こえた。しかし、しばらくすると「動いた!」との声が!

今回は、エレベーター(以下、EVと表記)の閉じ込めについて考えます。

地震の揺れにより、マンション等ではEVの停止による閉じ込めが発生すると懸念されています。EVには、地震感知装置のついている新しいタイプとついでない古いタイプがあります。

地震感知装置のついているEVは、地震が発生すると自動的に最寄りの階に止まります。止まったら直ちに降り、その後は階段で避難してください。

地震感知装置のついていないEVの場合は、最寄りの階には自動的に止まりません。その場合は階ボタンをすべて押してください。その後、止まった階で降りて階段で避難してください。ところがEVの機種によってはすべての階ボタンを押すと、イタズラと機械が判断して、押したはずの階ボタンがキャンセルされる場合があるので、焦らず動いている進行方向の階ボタンをすべて押してください。

地震が起こったとき、万が一EVの中に閉じ込められてしまうということも想定しなければなりません。

EVで閉じ込められると、不安になりパニックになるかもしれませんが、EVが落下することはまずないと思って、落ち着いて適切な対処を行いましょう。対処方法は、非常ボタン等がEVの中にあるので、それを使用して外部に知らせてください。

連絡がつけば救助が来るので、それまでは絶対に焦ってドアをこじ開けたりしないでください。重大な事故を引き起こすこととなります。このような場合は、如何に冷静でいられるかということが問われます。

また、地震直後にEVが動いても、絶対に乗ってはいけません。次の余震で、再度停止して閉じ込められることもあります。また、火災発生の場合は、煙の通り道になる可能性もあるので利用は控えましょう。



Q: EVのカゴ(人が乗る所)は落ちるのか?

A: EVは最低3本の頑丈なロープで支えているので、もし2本が切れても大丈夫。残った1本だけでも満員状態のカゴを支えられる強度はあります。3本全部切れても、安全装置がカゴをロックし落下はしません。

Q: EVに乗っているときに地震に襲われたら?

A: 地震時管制運転装置という装置が国内の約7割のEVには備わっています。平成21年度に設置が義務化されているので、それ以降のEVには全て備わっています。地震を感知すると最寄りの階まで自動で進んで止まり、ドアを開放する機能です。

Q: EV内で地震に遭遇、まずすべきことは?

A: 災害対策が備わっているEVは、押された階の予約はキャンセルされ、最寄りの階で自動停止します。しかし、そうでない場合も想定して、揺れを感じたら進行方向の階ボタンを全部押してください。そうすることで、どこかの階で停止してくれます。

Q: EVに閉じ込められたら、どうやって助けを呼べいいですか?

A: 非常ボタンで救助を要請してください。大抵のEVには備え付けられています。停電時でも非常ボタンは繋がるようになっています。非常ボタンは繋がると同時に、何処のビルのどのEVからの連絡かがピンポイントで分かる仕組みになっており、速やかに救助員を派遣できます。携帯電話で連絡する手段もありますが、それは最終手段と考えてください。電話だとビル名や住所などの必要情報を口頭で伝える時間のロスが発生します。出先でたまたま乗ったEVのビル名や住所はなかなか判らないものです。

Q: 閉じ込められた人がいる場合、救出しても良いか?

A: 専門的な訓練を受講していない者が救出してはいけません。二次災害を引き起こす可能性があります。

【今回の復習】

1. EVはロープが切れても落下しないし、切れることはまずない。
2. 揺れを感じたら、進行方向の階ボタンを全て押す。
3. もし、閉じ込められても、慌てず外部とインターホンで連絡を取る。
4. 災害時にはEVは利用しない。
5. 普段から混みあっているEVには乗らず、次のEVを待つ余裕を持つ。

災害発生時は、誰もが被災者。「みんなで力を合わせて救助にあたりましょう」。もしも、あなたの家族が考えた場合、あなたは傍観者でいるつもりですか?

・・・「火事だあー」

次号に続く

